

りんご・胴腐らん、いちじく・株枯病の治療剤

病患部削り取り後の傷口に

トップジンM[®] オイルペースト

チオファネートメチルペースト剤



■有効成分：チオファネートメチル……………20.0%

殺菌剤分類 1

■性状：赤色ペースト

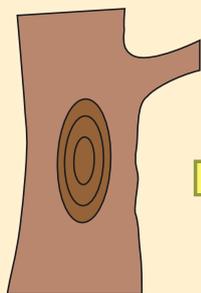


塗布例：りんご

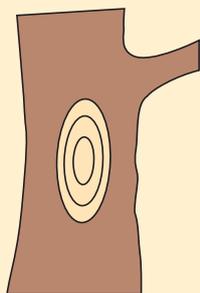


塗布例：いちじく

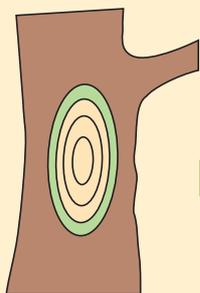
オイルペーストの使い方



①病斑と健全部との境界を確認します。



②病患部の腐敗部分を削り取り、除去します。



③浸透性を高めるため、健全部(病患部との境界から上下に4~5cm、左右に2~3cm)をうすく削り取ります。



④オイルペーストを、削り取り部分より大きめに全体に塗布します。

注意：本剤は、剪定痕や環状はく皮痕の切り口には使用しないでください。



日本曹達株式会社

トップジンM オイルペースト

包装：1kg×12本

人畜毒性：普通物

(毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

- りんご腐らん病、いちじく株枯病に抑制効果の高いトップジンMを有効成分とし、植物性オイルをベースとして製剤された塗布剤です。
- 従来の塗布剤に比べ樹皮下まで薬剤がよく浸透するので、樹皮下の腐らん病菌に対し、強く作用し、治療効果を発揮します。
- 浸透力が強いので、病患部を粗削りした後に塗布するだけで、胴腐らんを治療することができます。

適用病害と使用方法

※本剤及びチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	総使用回数*		使用方法
				本剤	チオファネートメチル	
りんご	腐らん病	原液	剪定時及び病患部削り取り直後	3回以内	10回以内 塗布は3回以内 灌注は1回以内 散布は6回以内	塗布
いちじく	株枯病		収穫後から休眠期		14回以内 塗布は3回以内 灌注は6回以内 散布は5回以内	

効果・薬害等の注意

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 使用前によく攪拌し、原液をそのまま刷毛等で塗布してください。
- りんご腐らん病の治療に使用する場合、樹皮及び本質部への薬剤の浸透が悪いと効果が劣る場合があるので、病斑をあらかじめ削り取り、周辺健全部への薬剤の浸透性を高めた後、塗布してください。
- 本剤の塗布により、樹皮に軽い枯れ込みがみられることがあるので留意してください。
- 剪定痕や環状はく皮痕の切り口には使用しないでください。
- 本剤の着色料は、衣服や皮ふに着くと色が落ちにくい場合がありますので、衣服や皮ふに付着しないように注意してください。
- 塗装汚染のおそれがあるので、自動車などにかからないように注意してください。
- 使用後の刷毛はそのまま放置せず、水でよく洗っておいてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- 皮ふに対して弱い刺激性があるので、皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
 - 使用の際は、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
 - 本剤は危険物第四類第三石油類に属するので、火気には十分注意してください。
- 保管：密栓し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
 - 移送取り扱いは、ていねいに行ってください。
 - 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。空容器は、圃場などに放置せず、水洗後適切に処理してください。

※本資料は2023年12月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



最新の登録内容、
SDSはこちら